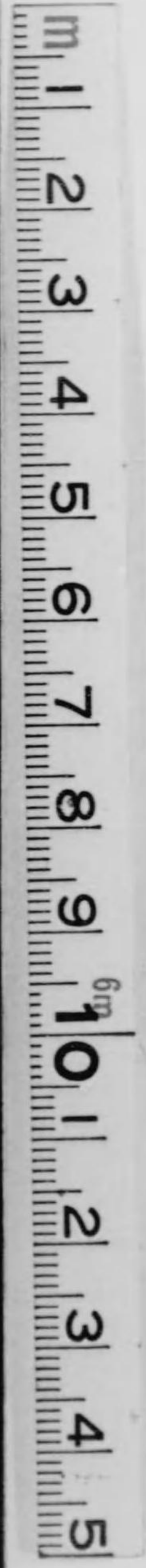


352
137

時事
連想組合の巻
完



始



法學博士 子爵 田尻稻次郎新著

時事
想連

組合の巻



組合の巻

大正
5. 10 10
内交

自序

同業組合の利世に定論あり然りと雖も我國施設未だ全たからず今哉之が普及完成を圖る更らに急なるものあり英米獨の如き見るべき者甚だ多し而して予輩之を説くこと茲に年あり明治四十二年予信州諏訪に遊ぶ同所は生絲業を以て名天下に鳴り其工場繁は即ち繁盛は即ち盛なるも一致團結の氣風を缺き鬩牆の跡なきを得ず予深く之を遺憾とせり長老片倉兼太郎氏は斯業の泰斗啻に慧眼銳意の人たるのみならず徳高くして聲望一世を覆ふ而して齡予と相次ぎ一見舊知の如く對座相談すること

殆んど徹宵主として説くに同盟の必要を以てし互に得る所あり歸るに及んで氏に送るに拙著經濟史眼一部を以てし其内容の一なる獨占の款を熟讀あらんことを請へり氏の賢明忠實なる會得咀嚼必ず哉多少の勞を取られしことを疑はず今回の大亂に遭遇し感更らに急にして轉た今昔の情に堪えず記して以て江湖に告げ相共に氏の心事に倣はんことを期す若し夫れ其詳細に至りては第一章總論に譲り之を茲に贅せず

大正五年七月

著者誌

時事連想組合之巻目次

第一章	總論	一
第二章	北米合衆國	五
第一款	スタンダルト石油會社	五
第一目	濫觴	五
第二目	發達	七
第二款	ツロストの組織	九
第三款	利害	一〇
第一目	利益	一〇
第二目	弊害	三
第三目	利害の比較	五

第四款 他の類例 一六

第五款 ツロストの勃興と株熱との差違 一九

第三章 英國 二

第一款 一般の趨勢 二

第一目 各種事業の擴張 二

第二目 小賣の利源 三

第三目 仲介者の省略 四

第二款 スミス氏の計畫 二五

第一目 目的及主張 二五

第二目 功績 二六

第三款 綿業の大團結 二九

第一目 動機 二九

第二目 コーツ會社 三〇

第三目 他の類例 三一

第四目 個人主義の廢頽及報告の改良 三三

第五目 石炭事業 三四

第一 イリオット氏の計畫 三四

第二 其他の計畫 三六



時事連想 組合之巻

法學博士 子爵 田尻 稻次 郎著

第一章 總論



抑々今回の戦局は空前の大亂にして蓋し又絶後たらん切に望む其將に然らざらんことを今哉時局尙ほ半にして固より其結果如何を知るを得ざるも矢既に弦を離る豈に落所なからん哉英國を除き戦前の財政皆緊張し獨逸の如きは最も甚だしく平和克復後は之を戦役前に比し交戦國の公債は三倍以上となり國民の負擔は二倍以上となるは數の免れ難き所にして而かも其大部分は之を文武の事

業に使用する能はず既に富裕なる内外公債證券所有者の囊中に入り生産力を減少し貧富の懸隔を増大ならしむるを免れず加之多數壯丁の損失は常に生産力の減少のみならず延いては社會各方面に不利なしとせず而して平和克復後少くとも三五年間は交戦國に於ては復舊事業及一般整理事業に忙殺せられ他を顧るに暇なく其購買力を減じ戦役前の如く海外投資(英國は年に凡そ二十億圓、獨は十三四億圓、佛は十一二億圓)拙著『財政と金融』乾第一編第九章第二節參觀)を爲す能はざるは數の看易き所にして北米合衆國、中央及南米諸國、印度、濠洲を始めとし從來資を外國に仰ぎし諸國に於ては事業の進歩戦役前の如くなる能はず大に其購買力を減ずるは是れ亦看易きの數なりとす而して合衆國今日の繁榮は平和克復後經濟情態の一變に伴ひ大恐慌を惹起し將に西曆千八百七十年七十一年の

獨佛戰爭後に於ける塙斯太里の轍を履み四海商業沈滞の因たるの虞なきを保せざるなり(拙著『經濟史眼』第十六章第三款佛國債金の影響參觀)果して然らば近き將來に於て諸國の購買力戦役前の如くなる能はずして物資を我市場に求むる頻繁ならざるは自然の勢なり、然りと雖も彼等も亦日需の物品は之を要す之を歐米に得る能はずんば之を我に需めざるを得ず只戦役前來つて我に求めし物は其需用の力を缺き歐米主として英獨より受けし所の供給は之を斷つ能はず故に今日の急務は廣く同業者を團結し幹部を組織し自滅的競争を避け生産費を確定し利益の最低歩合を定め其指揮監督の下に同一の歩調を保ち注文の如きは幹部に於て之を受け幹部は地理特長に依り之を分配し別に委員を設けて常に海外市場の情況に注意し詳細の報告を爲さしめ力を歐風物品の製造に致し以て千載

一遇の機を逸せしめず歐人の戦後經營に忙はしきに乗じ我近隣の市場を得るは是れ當に我國の利益のみならず善隣億兆の望に應じ其需用を充足し其幸福を増すものと云ふべきなり豈に他あらん哉、近時諸國に於て「カルテル」「シンヂケート」「ツロスト」等の名稱の下に資本の集團頻りに行はれ時に壟斷の弊なきに非ざるも豈に除害利用の道なからん哉降龍の鉢解虎の錫妙用無盡金環鳴つて歴々たり一振の効亦大ならずとせず請ふ章を改め其梗概を述べん

第二章 北米合衆國

第一款 「スタンダルト」石油會社

第一目 濫觴

「スタンダルト」石油會社は合衆國に於ける組織的大組合の最も古き者にして當初唯纔かに鐵道會社と運搬の特約を締結し運賃の特別割引を受けしに始まり漸次競争者を壓倒して大に其事業を擴張し西曆千八百八十年に於ては合衆國に於ける精製石油の九割(爾後新たに競争者起り總額の六分の一に減せり)を掌握し其量三億六千七百萬「ギャロン」價格六千二百萬圓に達せり而して爾來の經過を見るに合衆國の石油事業は年々増進の勢を示せり即ち西曆千八百九十年の米國々勢一斑に載する所に依れば同千八百八十九年の石油

産出總高は三千四百八十二萬三千六百六十樽(バーレル)なり、今一樽は四十二「ギャロン」(一「ギャロン」は二升九勺九弱)入なるを以て之を「ギャロン」に換算すれば實に十三億六千二百四十五萬二千八百五十二「ギャロン」の多きに達せり、其内粗品は僅かに四百六十餘萬「ギャロン」なりしを以て殆ど全部精製のものとも見るも敢て妨げなく事業益々盛大に赴き地中管運送の方法大に發達し當時ペンシルウエニヤ及紐育兩州の石油は地中管延長三萬五千哩ありを共用し殆ど其生産を區別する能はざるに至れり而して其合同産出高は西曆千八百八十九年に於ては二千四百四十八萬六千四百三樽即ち九億二百四十二萬八千九百二十六「ギャロン」とす實に盛なりと云ふべし又西曆千八百九十七年の産出高を見るに其總高六千五十六萬八千八十一樽即ち二十五億四千三百八十五萬九千四百二「ギャロン」の多額に達せり而し

て最近西曆千九百五年には總生産高一億三千四萬樽を超過せり「スタンダルト」は其六分の一を保てり

第一目 發達

抑々「スタンダルト」石油會社は石油産出及其精製業の上に於て毫も特色を顯し新機軸を出したるに非ず只運搬の一點に付他に先鞭を着けたるに過ぎず然るに同業の競争を排し世に傑出して以て此盛大を致す漸延原由の理實に誣ゆ可からざるものあり而して其盛なるに當つて哉其生産物の運搬は之を曩に繁榮の因を爲したる鐵道に依らず産地より精製所及輸出港に達する地中管(西曆千八百八十八年に於て此會社の使用する管の延長既に九千五百哩に達せり)を設け前記の如き盛況を示し鐵道をして其主要なる搭載貨物を失はしめ却て頭を垂れて之を得んことを需むるに至らしめ必要ある

時は管を修理する場合の如き其運賃を指定するを得るに至れり(西曆一八八八年に於ては其指定し得る所の鐵道は九千六百哩に達せり)蓋し自由競争の下にあつては勝者は順番に以前より強力なる敵手に遭遇し一層勉勵を要し汲々怠る能はざるものありて爲に事業の發達を促し物價低落し消費者を利するの勢ありと雖も石油の如き需用廣大なる日常品を掌握すること此の如きに至れば生産者は其價格を左右するの能力を有するに由り若し夫れ一朝徳義心を忘却するときは擅に其價格を騰貴し公衆を苦しめ一般の發達を妨ぐるの虞なしとせず豈に寒心せざるを得ん哉此石油會社は露國石油産出者(主として英資に據る)と氣脈を通じ其勢力を歐洲市場に延長せり而して西曆千八百九十六年露國の石油産出總高は十五億三千六百十三萬ギャロン内四億三千三百六十一萬五千ギャロンは點火

用精製石油にして九億二千七百十二萬五千ギャロンは燃料其他は粗品なりとす故に米露兩國石油の聯合は頗る有力なる者と謂ざるを得ず然れ共露國石油の産出高は騒動の爲め大に減少し戦争前(西曆千九百一年)の最高額六億四千三百六十萬ブード(一ブードは四貫三百六十八匁餘)より西曆千九百五年の四億千萬ブードに減少せり

第一款 「ツロスト」の組織

方今米式大仕掛の「ツロスト」は前記標準石油會社を以て其魁とし爾來鐵道、製鐵、管類、砂糖、醸造、家畜、火酒等無數の「ツロスト」「ブール」等陸續として勃興し以て今日の盛大を致せり而して其組織は多數同業者聯合して組合を組織し中央部を設け之に統治の任を附託し營業一切の指揮を委ぬ(營業上の合衆國にして中央部は合衆國政府の如

く聯合したる各社は尙ほ各州の如し従來合衆國は其國家自ら一大「ツロスト」の如き組織なれば合衆國に「ツロスト」の盛なるもの蓋し縁なきに非ざるべし而して中央部よりは「ツロスト」證券なる者を發行し之を聯合中の各社に屬する各株主に與へ各社の收入は之を合同して一金櫃となし「ツロスト」證券に對して均一の割賦を支拂ふものとす然れども更に一步を進めて聯合各會社を集合し以て一大會社を組織し前記の「ツロスト」證券所有者に其持分に相當する株式を付與し純然たる一大株式會社を構成する者多し

第三款 利害

第一目 利益

今一步を進めて其利害の關係を見るに利の方に於ては

(第一) 聯合各社の長を採り短を補ひ最上の機械を設置し最便の方法を採用するを得るの利あり

(第二) 營業上の最大智識能力及び經驗を集中するの利あり

(第三) 國中便利の方面に向つて隨意に支店を設置し生産者と消費者を近接せしめ運送の煩を省くの利あるのみならず殊に嵩高なる物品を取扱ふの事業の爲めに最も便利あり

(第四) 事業廣大なるを以て之に附隨する遺利は小事業に於ては捨て、顧みることを得ず却つて無用の長物たらんとする廢物を利用し副産物を産出し重ねて収益するの利あり例へば屠獸石灰業の如き最も其多きに居れり

(第五) 事業廣大なるを以て各部の關係を詳かにするの機會多く随つて發明改良を促すの便あり而して小資醒醒の事業に比す

れば多少餘裕の存するものあるを以て事業上試験研究の餘地あり

(第六) 到る處聯合物品の版圖なるを以て競争の爲めに生ずる費用を省略し得るの利あり、現に米國の四五の煙草事業者は競争の爲めに年々三百萬ドルの廣告料を要するも此組合の如きは強て其政策を取るを要せず

(第七) 前陳の利益あるを以て生産費及事業費を減じ其品質を改良し収益を増加し爲めに物價を低廉にし消費者に便利を與ふことを得べし

(第八) 自由競争の場合に比較すれば物價の變動屢々ならざるの利あり

第一目 弊 害

前目所載の利益甚だ大なり然れども天下何物か利害相伴はざらん哉「ツロスト」問題亦其例に漏れず試みに其弊害を擧れば左の如し

(第一) 聯合強大に過ぐれば競争者起り難く動もすれば獨占の弊を生じ易くして却つて營業の發達進歩を妨ぐるの患あり

(第二) 一たび獨占の勢を爲すに於ては物價は必ず騰貴すべし

(第三) 聯合廣大に過ぐれば利害蕭牆の内に衝突し遂に兄弟相闘ぐの弊を生じ圓滑なる發達進歩を妨ぐるの患あり

(第四) 若し其聯合強大ならざれば他に同一の聯合起りて競争を試む此時に當り强者は弱者を斃して市場を占有せんとし多少の廉賣を爲し又は其他に要せし費用あるも未だ之を補ふの邊なく前起の者は却つて後起者の爲めに失敗を招くの恐れあり現に砂糖「ツロスト」の場合に於ては當初の組織より二年を経て

數個の競争聯合を誘發し一たび相當價格以上に騰貴したる砂糖を相當價格に引下げ後二年を経て是等の競争者再び聯合して「ツロスト」を組織し生産高の九割を左右するの實力を掌握し糖價相當價格以上に騰貴せり

(第五) 廣大なる事業僅々數人の手に屬し公衆は勿論一般株主と雖も其會社の真相を詳かにする能はざるを以て其機關に預かる少數の當事者に會社株式の投機賣買を試みんと欲するの情を誘發するの弊あり

(第六) 廣大なる事業を統率するには非常の腦力を要す假令各部の機關完備するも豫知す可らざるの災難又は當事者中の有力者の突然なる死亡等の變に遭遇するとき甚だしき動搖を免れざるの患あり

第三目 利害の比較

前二目記載の利害關係を見るに利害共に前提に於て多少の推定を要するものありと雖も之を對照比較するときは利は以て害を補ふて餘りあり而して其所謂害なる者も多くは弊に屬し必ずしも「ツロスト」に伴ふ者に非ずして利は則ち之に伴ふ者なり故に國家的思想又は公共的觀念を以て之に従事するときは其功甚だ大なり又何を乎疑はん然りと雖も事に謹慎の要素を缺き純然たる利己流に陥るに於ては獨占の弊を生ず慎まざる可からず戒めずんばある可らざるなり不幸にして弊害起る事あらば速かに鎮壓的法を設け以て之を抑制するを要す其甚だしきに至りては局所切斷若くは局部麻痺の術を施し併せて嚴密なる行政監督を下し精密なる公告を爲さしむべきなり

第四款 他の類例

曾て鐵道王を以て有名なるカーネギー氏は既に多數同盟に加入し大に力を振ひ西曆千八百九十九年五月更に十五會社と聯合し五億圓の資本(後ち五億六千萬圓に増加せり)を以てカーネギー鋼鐵會社を設立せり、此會社組織に際し曩きに銅組合を以て有名なる彼ロックフェラ氏も加入者の一人となり其他同氏は鐵及銅鐵業の組合十二個を設立しカーネギー氏も其協議に與り茲に一大同盟を構成し二十億圓の鉅資を投入せり、是に於て鐵及銅鐵の事業は殆ど獨占の勢をなし線鐵價格の如きは之を前年末に比して十割鐵及葉鐵の如きは五割の騰貴を示せり而して合衆國の製鐵事業は輒近非常の増進を示し一箇年地鐵の產出高は西曆千九百三年には千八百萬噸同

四年には少しく減少して千六百五十萬噸となり、同五年に於ては二千二百九十九萬餘噸に増加せり、元來合衆國の鐵鑛及石炭に富むは他國に於て見ざる所なり而して之に加ふるに前記の如き大資本の投下及大組織の成るなり其勢の盛なる猛然として當る可らず獨逸の「シンデケート」と相併んで四海の鐵業上に一大變動を來せり其他「フィラデルフィア」に於ては九十個の商會を糾合し五十萬弗の資本を有する綿糸「ツロスト」を組織し、紐育市に於ては資本一億二千萬圓以上を有する金屬管製造會社ありて全國製造高の九割を掌握し白熱瓦斯燈會社は二千四百萬圓の資本を有し、テラウエヤ州にては土管製造者聯合して五千萬圓の資本を有する組合を組織し之に同盟水管製造會社の名を付し、シカゴ染料製造者は資本四千萬圓を以て一組合を組織し、キヤロライナ及アラバマの綿布製造者も相聯合して

一會社を設立しミニヤポリスの製粉業者は資本八千萬圓を醸して合衆國製粉會社を設立せり、其他多數の煖爐製造者も資本一億圓を以て組合を組織し棉花、牛乳、自轉車、家具、葬具業に至るまで皆「ツロスト」ならざるはなく其勢天下を風靡し米國經濟界の十分の九を併呑せんとす實に西曆千八百九十九年の初期に於ては「ツロスト」の個數百八十五を數へしに同千九百三年には四百五十三個となり同千九百十二年には千二百五十一個報告せざる者を除くとなり前記數者の外聯合煙草會社は五千二百五十三萬七千八百四十弗の巨資を有し、商船會社は三千九百萬弗、合衆國製革會社は三千六百十六萬弗、合衆國製銅會社は三千百萬弗の資本を有し、前記カーネギー鋼鐵會社の如きは橋梁材料製造を含み其九割を供給し、米國錫板製造會社は錫の九割五分を掌握し、「ナシヨナル」管類會社は管類の九割を供給す其

他斯の如きの類擧げて數ふるに違あらず、豈に驚くべきの現象にあらずや

第五款 「ツロスト」の勃興と株熱との差違

然れども「ツロスト」は既設の會社又は個人が其資本を合同する者にして新に資本の必要を惹起する者に非ざれば新會社熱の流行と自ら其結果を異にし株式投機の如き恐慌の因を含有せず只資本の分配と事業經營の方法を變ずるのみ、然りと雖も亦多少壟斷の弊を生じ物價の騰貴を來す虞なしとせず故に米國に於ては屢々法律を以て其弊を防遏せんとし之に對する新舊法律は四十五篇の多きに及べり今其一二の例を擧げんに西曆千八百九十七年七月の法律は

總て「ツロスト」其他の方式に依り契約を爲し又は貿易の自由に反する團體と認定する者は之を一箇年以内の禁錮に處するものとし同九十一年に於てイリノイス州は法律を以て「ツロスト」其他何等の名稱を用ゆるも一切此種の聯合を禁し團體個人を問はず總て之を嚴罰に處すべきものとせし如きは是なり又一歩を進めて「ツロスト」に對する取締方法を議する爲め各州各府の聯合會を招集せんとするの議論を生ぜり然れども是等の組合は法律を以て之を禁する能はず其干涉を試みるも到底無効に歸すべきや論を俟たず爾後の實驗此事を證するに餘あり是等の法律は却て會社若くは個人の組合を進め一層深密なる關係を生じ聯合組合より進んで大株式會社の組織に移るの傾向を發生せり鑑みずんばある可らざるなり。

第三章 英國

第一款 一般の趨勢

第一目 各種事業の擴張

近時商工事業の競争は概ね大會社の勝利に歸せり是れ他なし大資本家は比較的營業の改良と市場擴張の便を有し小資本家を壓する實力を有すればなり故に大資本家は益々其資金を増加し又は大に同盟を試み小資本家も亦其競争に抗せんと欲し其資本を合し同盟を組織し終に目下の如き合同の現象を呈するは自然の勢と云はざるを得ず元來英國に於ては小賣商の大資本を有する者少からず大館を構へ一館内に諸商品を集め大に顧客に便利を與へ一大壯觀を呈するは實に世人の喫驚する所にして倫敦市に於て殊に然りと

す而して株式組織は生産事業より延て分配事業に及び西曆千八百九十六年九十七年の兩年間に、雜貨、食品、油類及藥種の小賣會社に投せし資本の高一千八百萬「ポンド」に達し一社にして百萬若くは二百有五十萬「ポンド」の大資本を有する者ありとは實に驚くべきに非ずや、是等大商社は都鄙到る所に支店を有し「リプトン」商社（物品販賣店）の如きは倫敦市に七十二、地方に百八十一の支店を有す又六個の雜貨商社は各所に支店を設け殆ど合同一手販賣の勢あり勢斯の如くなるを以て小資の小賣は之と拮抗すること能はず漸次同盟の必要を感じ一地方毎に組合を設け相互に氣脈を通じ頗る其勢力を養ひ鐵道會社に向ては運賃の割引を請求し、政府に對しては自家營業に不利なる法律の改正若くは廢止を請願し又は法廷の判決に注意し大に努力する所あり而して同盟中其規約に背く者あるときは他の

同業者一致團結して違犯者よりも廉價に物品を販賣し又は貨物の供給を斷ち以て復た立つ能はざるに至らしむ實に非常の制裁と云ふべし

第二目 小賣の利源

抑々小賣の利源は廉買高賣の二者にあり若し夫れ大商店の競争に遭遇するに於ては此二利源を全ふする能はず、果して然らば小賣中其仕入品の支拂に苦む者を増加するなきを保せず、事茲に至れば卸賣或は其損失を製造者に轉嫁せざるを得ず或は其補償を小賣中の健全なる者に求めざるを得ず、然れば則ち小賣は勢ひ之を消費者に轉嫁せざるを得ざるに至るべし、是に因て是を觀れば組合組織の爲め小賣の基礎鞏固となり一般消費者の利益なるや疑を容れず、只

組合強大に過ぎ遂に壟斷の弊を生ずるなきを限度とす

第三目 仲介者の省畧

製造事業に於ては一定の時期一定の場所より貨物を購買するを必要とせざる顧客に向て其製品を販賣せざるを得ざるを以て市場に於て弱者の地位に立つ者と云はざるを得ず故に其利源は物價及生産費等に變動なく依然停止平穩なる景況に於ては實際勞銀の低落と仲買人の減少若くは撤去にあるや疑を容れず然るに前者は勞力需給自然の關係と職工同盟人爲の障礙ありて漫然之を減少する能はず只後者は組織及手段方法の如何に依り之を減少又は全廢するを得べし是れ方今製造家の大に力むる所にして既に新規の流行の商品則ち自轉車及裁縫機械製造者の如きは全然仲買人を排除し

製造者より直ちに小賣若しくは顧客に販賣するの新慣習を作成し(英國に於て近年まで此慣習無かりき舊慣は既に破れたり云ふべし)大醸造所に於ても亦自ら酒類販賣の免許を得従前の如く旅館料理屋等へ直接に酒類の販賣を爲し殆んど仲買の使用を全廢せり其他製粉事業の如き亦然り

第一款 スミス氏の計畫

第一目 目的及主張

イー、ジェイ、スミス氏は夙に組合の利益を察し曾てホルミンガムに於て金屬製寢臺の製造に同盟法を用ひ偉大の成績を得たるより同盟法なるもの天下を風靡し爾後其法電氣鍍金製延板、鐵製留針等種々の製造事業に波及し非常の勢力を呈せり而して其趣旨は主と

して外國競争の過激を憂る者は先づ内國に於ける自滅的競争を抑制せざるを得ず、其目的を達するには先づ以て善良なる同盟を組織し、周密なる調査を遂げ各製品の生産費を確定し、利益の最低歩合を定むるを要すと云ふにあり、是れ實に事業の根底を固うし、併せて壟斷の弊を豫防するに足り、實に吾人の心を得たるものと云ふべし、又其方法は委員を設けて外國貿易に關し詳細なる報告を爲さしめ、一同團結して外國の競争に對するの方法を講究せしむるものとせり、或る場合に於ては特別の市場特別の事情に由り一時賣價を引下ぐるの要あるべく、又或外國に於て物品を製造するを便宜且つ利益とすることあるべし、是等は委員の最も注意すべき事項なりとす。

第二目 功 績

ニミス氏は事業經營上一機軸を出せしものと云ふべし、而して其生産費及利益の最低歩合を定むるが如きは實に深謀遠慮あるものと云はざるを得ず、良種豈に良果を生ぜざらんや、西曆千八百九十四年ヨークシアヤに染物工場組合、染工組合、瓦斯組合及労働者組合を組織又は改良するに當り、皆ボルミンガム同盟に則とれり、此等の同盟は當初より非常の勢力を表はし、立ち所に事業者全部の六割、總職工の九割を網羅せり、其設立十八箇月後に、勞銀會議の決議に違反したる者又は事業者の規約に悖りたる者及職工の之に背きたる者に罰金を課することを議定せり、是れ世人をして昔日の組合組織を追想せしめ、少しく奇異の念なきを得ず、と雖も亦已むを得ざるに出るものに似たり、而して勞銀増加の要求は當該製造所の利益五分以上となり、其地方に於ける同業者の總數七割五分以上が請求高と均しき

勞銀を支拂居る場合の外之に應せざるものとせり、是れ亦一方法と云ふべし、陶器製造業に於ても此種の同盟を組織せしと雖も尙は幼稚の域にありて勢力未だ大なるを得ず、然れども其進行は頗る注意を要すべきものあり、是等の組合は之を適當の範圍に止め純良の意志を以て經營せらるゝに於ては大に營業の基礎を鞏固にし従前の廉賣競争に伴ふ所の粗製濫造の弊を防ぐの利ありと雖も利のある所は害亦茲に潜伏するは天下の常勢にして是等同盟の如きも獨占の弊を生じ事業者の一方より市場の觀察を下し勞銀歩合を最低以下に定め或は社會問題を惹起するの媒をなすの虞なしとせず、然れども幸にして世人が前記スミス氏の深謀遠慮に鑑み深く茲に注意せば其害を避け其利を收むる蓋し難きに非ざるべし

第三款 綿業の大團結

第一目 動機

英國從來の綿布製造は外國同業者より劇烈なる競争を受け内國に於ては最新式の機械を具備したる新會社の競争を受け頗る困難の境遇に陥り西曆千八百九十七年の冬期に於て勞銀の引下げを決行せんと欲したりと雖も廣く同業者を糾合する能はず又職工同盟の反對に逢ふて其目的を達すること能はず終に一致團結以て一大組織を成すの必要を感じ共同營業の企圖交々起れり、綿布製造者が此の如く「ツロスト」の組織に熱中狂奔せし所以の者は他の競争に迫られ維持の必要に由るものなるべしと雖も抑々亦曩に撚糸製造業者が共同團結して偉功を奏したるを羨望するに出るに似たり請ふ

目を改め之を略陳せん

第二目 コーツ會社

ベインリーのコーツ會社(燃糸製造に從事する者なり)は總計一億千五百萬圓(内二千萬圓は債券)の資金を以て西曆千八百九十年株式組織に設立せられ當初より社勢駸々として進歩し既に吞牛の勢を示し同千八百九十五年に「ケル」會社を合併し翌年に至り其勁敵三大會社を合併し一大會社となり新に四千百萬圓の資本を募集して爾後普通株式に對し二割の配當を爲すの盛況を呈せり又西曆千八百九十七年十二月十五個の製造會社を合併して二千萬圓の資本と百五十萬圓の社債とを以て一大會社を組織せし者あり英國綿燃糸製造會社は元來是等會社は相互競争の結果其製品の下落到に苦しむ

終に此大共同の舉に出て大に利益することを得尙ほ進んで利害の衝突を防がんとしコーツ會社と妥協し其普通株式二百萬圓を引受けしめ(同業會社が相互に普通株式の引受を爲すときは其利害を一にし競争を避るの便あり)其設立後期月ならずして四十七萬五千「ポンド」の資本を有する一大會社を合併し頗る盛況を呈せり茲に於て最近に設立せられたる三千七百二十萬圓の資本を有する北米合衆國の燃糸製業者の組合は其競争を恐れコーツ會社及英國燃糸製造會社と其賣出高及價格に於て不當の競争を避くるの約條を爲しコーツは百三萬圓英國燃糸は七百四十四萬圓此米國新會社の株式を引受ることとせり是に由て之を觀れば小資本を有する數個の英國燃糸製造者は勢團結して一同盟を組織せざるを得ざるや疑を容れざるなり

第三目 他の類例

綿糸紡績事業者も是等撚糸製造者の例を見且つ競争の劇烈なるが爲め同盟の必要を感じ西曆千八百九十八年三月四千萬圓の資本と二千萬圓の社債を以て株式細糸紡績會社を設立せり此會社はマンチエスタ及ポルト等に於ける三十二個の紡績所を合併したるものなり元來此等の紡績所は設立以來數年を経たる知名のものにして已に深密なる關係を有せしに依り此合併は困難なく施行せられたり

右の外オールダムの太糸紡績者は三千万圓ベルファスト及其附近に於ける亞麻紡績リニヤーン會社は四千万圓ダンヂーの苧麻製造者は二百万磅の資本を以て大會社を組織せんとせり又既に同

盟を爲し又は期月ならずして結合すべき見込ある織物事業に係る諸團體に於ける資本總高は二千八百萬ポンドの多額に達す斯の如き結合は尙ほ頗る増進の勢あり而して綿布及毛布製造の數は多からざるを以て容易に聯合し得るの事情存在す

第四目 個人主義の廢頽及報告の改良

英國に於ける個人主義の本城たるマンチエスタの製造者が祖先以來墨守し來りたる主義を棄て利益分配の範圍を廣め團體主義に傾き共同一致を計るは實に非常の變更と云はざる可らず而してホルデン氏は此趨勢に乗じ其利を收め其害を避けんと欲し總數八萬

臺の織機を有する數製造者をして日々其賣高等を報告せしめ其翌日之をマンチエスタ取引所に於て出版公告することに同意せしめたり斯の如くして従前の漠然たる報告を確實且つ迅速ならしむるは取引の爲め一大便宜を與ふるものと云はざるを得ず是と同時に綿糸紡績組合も一致聯合して其事業に關する訴訟事件及立法府に對する建議等を處理する爲め一委員を組織せり

第五目 石炭事業

第一 イリオット氏の計畫

石炭は文明の燈明にして一日も之を缺くを得ず其價格少しく高きも其變動を避け百般の事業をして其據る所を知らしむるの必要あり是に於て哉西曆千八百九十三年ソルヂョーヂ、イリオット氏は

鐵鑛精練鐵及鋼の製造に要する分を除き石炭の總產出高を包括すべき一大「ツロスト」を組織せんことを計畫せり氏は蘭菊芳を競ふは夫れ或は妨げなきも石炭の產出上區々たる競争を排斥し地形を選び大に之を收集するは學理上爲し得べからざるのことに非ずとし因に記す英國の石炭生産地は之を六區に別ち鐵の產地に接近し海港を距る遠からず其產額は年に二億八百萬噸に達す熱心に其説を主張し石炭の賣價を一噸七志三片一志は凡そ四十八錢一片は凡そ四錢とせば鑛夫の勞銀を十分に増加するも尙ほ同盟の普通株式に對し一割の配當を爲し得べしとの豫算を立て商務局の許可を得るに非ずんば之を一割五分以上に増加するを得ずとの規定を設けんとせり是れ利益の壟斷と產出品の高賣を豫防する必要の注意と云ふべし然れども氏の計畫は十二億圓の大資本其三分一は五分利債

券を發行するの企圖たりを要し其規模甚だ廣大にして遂に實施を見るに至らざりしは是非もなき次第なりき

第一 其他の計畫

爾後國會議員の一人なるトーマス氏の石炭の産出高を制限し之を各坑に分配し以て其價格を維持せんとするの說を唱道するありて坑主及鑛夫中多少の同意者なきに非りしと雖も此の如きは自然の發達に反し頗る古風の計畫なるを以て遂に多數を得ずして消滅せり又ヨークシャーランキャスシャー及其中間地方の炭坑主聯合會の事務員なるイリス氏も坑主を糾合し一株式會社を組織し中央部會と地方部會とを連絡して氣脈を通じ其決議に依り代價を定め其社員の炭坑より産出する石炭は此價格を以て會社に購入し會社に於

て更に之を販賣せんとの提議を爲せしが如き事實あるは畢竟イリス・オット氏の計畫大に世人の注意を惹き又炭坑主等が既に聯合の必要を感ずるの一證として見るを得べし、爾後石炭及鐵事業の爲め千四百萬圓の大資本を以てピース組合なるもの起りしと雖も是れ普通の組合にして所謂「ツロスト」に非ず、其他採炭事業に於て重要なる合併は西曆千九百九十六年「ジェイ、ジョイセイ」會社が或る貴族の所有に係る炭坑を買收せし一事あるのみ、此會社は四百五十萬噸の石炭を産する炭坑を有し一萬二千人の役員職工を使用す亦英國の一大會社なりと云ふべし、石炭分配事業に於ては西曆千八百九十六年八個の大商會合同して株式「タブロー、コリー」及子息なる一大會社を設立し海路倫敦に輸送せらるゝ石炭の總高八百萬噸の内五百萬噸を引受け其販賣を一手に掌握せり而して此會社の資本は二千萬圓にし

て債券八百萬圓を發行せり

第六款 運搬及金融事業の團結

第一目 運搬事業

乗合馬車小荷物配達及鐵道會社の如きも同業中廣く聯合をなし就中航海業者の如きは内外諸港に航海會議所を設け互に氣脈を通じ特約を定めて相互の競争を避け殆ど東洋、喜望峯、濠洲及米洲の運搬事業を獨占するの勢あり、西曆千八百九十七年十二月半島及東洋汽船會社の社長は其株主總會に於て述て曰く航海事業の利益は諸汽船會社同盟して運賃を一定せざれば之を望むこと能はざるべし其同盟規約は之を英國鐵道會社に行はるゝ所に準するを得べし則ち鐵道會社は列車の速力を増加し其設備を完全にして種々の方法

を以て改良をなし旅客の便利を圖ることに於ては互に競争を爲すと雖も同一の方面を往復する鐵道の賃錢は各社通じて一樣なり、是れ目下汽船會社の爲す所なりと、是に由て之を觀れば汽船會社の同盟亦固しと云ふべし、是等の同盟は直ちに其効驗を示はし自由競争の下に於ては歐洲より海峽殖民地までの貨物の運賃は一噸五志乃至七志六片なりしに獨英會議に於て既に之を二十志に増加せり故に商賣は固より此の如き増加を喜ばず大に不便を訴へしと雖も航海業者は貨物運送の便を圖り殊に外國貿易上に於て等差率(デッフエレンシャル、レート)割引若くは特定率(プレフェレンシャル、レート)を設け時としては貿易上外國競争者に利益を與ふることなしとせず、英國は世界海運事業の大部分を占むるを以て其割引等の爲め外商の爲には割合よく其荷物を運送し得る結果となることあり、是に於て

商賈は之を以て外國競争の劇烈なる一因となし益々之を喜ばず又之を實地に徴するに一見解し難きものなきに非ず其一例を舉れば同盟汽船會社に於ける綿製品の運賃は紐育より上海まで一噸二十五志乃至二十六志六片なるにリバプールより上海までは四十七志六片なりしことあり抑々海運の事は事情複雑船操荷物有高等の摸様に由り此間種々の消長なしとせず故に單純に之を斷する能はざるもの此の如きは亦是れ一奇觀と云はざるを得ず

第一目 金融機關

英國の生産分配及運輸會社が其資本を集中し大組合を組織して競争を避くるの景況は概ね此の如し而して其金融機關は如何なる情態なるやを観るに合同増資及支店の開設甚だ盛んにして合併中

其最も見るべきものは嘗て「オールドダム」株式銀行を合併したる「ミッドランド」銀行は更に進んで市及倫敦銀行を合併し、倫敦市及「ミッドランド」銀行と改名して其資本を二百二十萬「ポンド」とせり、曩に同盟銀行及一行二社を合併したる「パース」銀行は今又「ダービー」及「ダービー・インディア」銀行を合併し、市首府及地方銀行は「グラモルガン」銀行を合併せり、斯の如くにして英倫に於ては西曆千九百九十六年には株式會社の數百個なりしに同千九百五年には六十二となり、殖民地及外國銀行を除く同時に支店數は三千八百八十九個より四千四百五十八個に増加せり而して西曆千八百八十七年より同千九百十五年までに銀行の合併事件は二百四十一件の多きに達せり、拙著『財政と金融』坤第二編第一卷第八章第一節參觀)

第四章 獨逸

第一款 沿革

獨逸に於ては他の大陸諸國に比し「ツロスト」最も廣く行はる。蓋し獨逸の國情は或點に於ては北米合衆國に類似し工業の發達は市府の繁榮を來し生産過多、競争劇烈等の諸原因相待つて「ツロスト」の發生を促し夙に之が萌芽を發し製鐵事業に於て最も盛にして延ひて石炭事業に及び方今獨逸に於ては個人若くは一社團は最早事業の單位に非ずして「カルテル」(「ツロスト」的組合)を以て單位と爲すに至り其業甚だ偉大なり請ふ少しく之を述べん

獨逸に於ては米國式「ツロスト」的組合に對して「カルテル」又は「シンデケート」の稱號使用せらる然れども嚴格に之を區別すれば「シンデケート」は一層の發達を経たる者にして前者は單に販賣の條件を定め賣價を指定するに止まると雖も後者は更に一步を進めて組合の爲め販賣の委託を受く然れ共普通は兩語を混用し其間敢て差別を置かず而して慧眼の史家は商界の實況を調査し獨逸に於て西曆千八百三十六年既に「シンデケート」成立の説を傳ふ方今の「カルテル」は西曆千八百六十年に萌芽を發し其最も著き者は西曆千八百六十二年に起りたる錫板製造組合なりしと雖も尙ほ多くは一方面に限局し業數甚だ多からざりき降て西曆千八百七十年代に至り競争の結果製鐵事業に生産超過を來し生産販賣等に關し同業中に規約を定むるの必要を生じ「カルテル」組織の氣勢漸やく動き西曆千八百七十三年製鐵事業(地鐵)に一組合を構成し既に内外に對し製品の價格を異にするの弊を生じ西曆千八百七十九年保護期に入るに及び一層

熾にして西曆千八百八十六年サイレジャの延鐵事業に於て新式の組合起り殆ど全國を風靡せり、然るに當時氣運未だ石炭、鑛山、地鐵、葉鐵、精製鐵品等を網羅して一大事業を組織するに至らず、是等各種の事業箇々別々に成立し、各々其利害を異にし、石炭、地鐵事業の如きも亦當時生産超過に苦み加ふるに學術の應用漸く盛なるが爲め生産品の市價大に低廉に傾き、葉鐵及精製鐵品業者は原料及燃料の價降下し時に或は供給超過の爲め生産費以下にして是等の資料を得るの便を得、當時未だ劇かに「ツロスト」式「カルテル」の大發展を見るに至らざりき、然るに西曆千八百九十年代に至りては氣運大に熟し、曩に西曆千八百八十六年ルールに於て起りし地鐵業組合漸次發達し、同千九百年骸炭組合を併せ、同九十二年ミネッタの地鐵製造所を合せ、西曆千八百九十四年ジールランドに一大地鐵製造組合組織起りて

同地の鑛山會社を合せたり

第一款 組合組織の完成

斯の如くして地鐵の產出大に増進せしに搗て加へて西曆千八百九十三年以來石灰酸事業の組合大に起り、燃料地鐵の供給裕かなりしに鐵品製造の發達之と伴はず、曩に全國を風靡せしサイレジャ葉鐵事業も西曆千八百九十三年には分散の非運に陥り、大體の進歩に於て少しく躊躇の有様を顯はせしか、西曆千八百九十四五年頃より世上漸やく活氣を呈し、同千九百年に至るまでは近年稀れなる盛況を示し、獨逸鐵業も此間絶大の發達を致し、所謂半製品「カルテル」なる者の發展を促がせり、蓋し半製品とは條鐵、骨鐵、ビーム、葉鐵、棒鐵、丸角共地鐵等を云ひ、是等の製造はトーマス式（鑛石中の磷素を容易に除

く方法)の適用に因り當時鐵事業に殆ど新季節を開けり(獨逸には含
磷礦多きを以て此發明は特に獨逸に利あり)

元來是等の鐵類は葉鐵其他精製鐵品の原料品なるに高等製鐵業
は前陳の如く頓挫不振の勢を呈せしに由り是等半製品組合は一步
を進めて精品製造を爲すの利益あるを悟り當初は單に賣却代價の
統一に就て規約を結びしに止まりしと雖も漸次原料の獨占を爲し
西曆千八百九十九年に至り是等原料品の供給を一手に纏め自ら高
等品の製造に着手し一面には從來の葉鐵製造者等をして自己より
原料を得ざれば他より之を收得すること能はざらしめ一面には自
ら高等品の製造者と成りて古式の製造者と競争し西曆千八百九十
五年より同千九百四年までに重量葉鐵及棒鐵組合(西曆千八百九十
七年)鐵釘組合(同九十八年)輕量葉鐵組合(同千九百二年)に組織成り西

曆千八百九十七年以來ルール、ミネツテ、ジールランドの地鐵製造
者は既に完全なる組合を組織し獨逸の鐵業大に發達伸張せり斯の
如く各種の「カルテル」發達し終に全國に亘り一大團結を爲すの必要
を生じ西曆千九百三年銅鐵「シンヂケート」の組織を企圖し「クルップ」
「ヒニキス」等大家の反對あるにも拘はらず終に前記の地方を糾合し
て一大集團を組織し進んで佛白堊の同業者と氣脈を通じ頗る四海
の耳目を惹けり

第三款 石炭事業其他の大集團

右の外石炭事業に於ても前陳の如く「カルテル」組織大に發達し其
最も有名なる者を「ライン、ウエストフアリア石炭「シンヂケート」とす其
特質は米國石油會社と同じく直接に躰賣を左右するも生産は各會

社の自由に放任し石炭賣買會社の名を冒して西獨の石炭業を左右す、其他獨逸展轉組合、化學工藝組合、石油、砂糖事業等の如き「ツロスト」の重なる者は皆本部を設けて糶賣を行ひ價格を指定して各會社に隨意に卸小賣の需めに應ずるの權を與へず注文書來る毎に先づ本部に呈出せしめ本部は百般の事情を斟酌して甫めて注文に應ずることを許す而して販賣價格も亦本部の監督する所なり

組合の巻終

大正五年八月十五日
 大正五年八月十五日
 大正五年八月十五日
 大正五年八月十五日
 初版
 初版
 初版
 初版
 再版
 再版
 再版
 再版
 發行
 發行
 發行
 發行

時事連想

組合の巻(奥附)

著者 田尻 稻次郎

發行者 江森 泰吉

東京市赤坂區新坂町七十二番地

印刷所 公木 社

東京市麴町區波田町二ノ六八

發行者の檢印無き者は
 發行に付見發行者に
 不許複製
 發行者に通報せられたく
 發行者の檢印無き者は
 發行に付見發行者に
 不許複製
 發行者に通報せられたく
 發行者の檢印無き者は
 發行に付見發行者に
 不許複製
 發行者に通報せられたく

發行所

東京市赤坂區新坂町七十二番地
 振替口座東京二〇三〇〇番

江森 泰吉

352
1371

著新郎次稻尻田^{爵士博學法}長院查檢計會

時 事 連 想

卷の八 卷の七 卷の六 卷の五 卷の四 卷の三 卷の二 卷の一

組合 工業 金融 收入 公債 歲計 食料 水利

心血を濺ぎたる八大雄篇の合綴

泰西の人七時に時勢の必要に鑑み時に學術普及の爲め其専門の粹を抜き叙象的著述を爲すこと稀れなりとせず而して其効甚だ大なりシエホンの貨幣論フオウルの救貧法論等即ち是れ也今哉世界大に亂れ歐亞兩洲は正に修羅の巻にあり而して中米治らず北米爲めに安からず此時に方り億兆を得て能く枕を高くするは獨り我國ある而已……然りと雖凡そ字内に關する者孰れ乎戦禍を受けざらん殊に平和克復後に於ける世界經濟の情態は大に戦役前と其趣を異にし交戦國の財政急を告げ人口の調和を失し英獨佛の海外投資戰役前の如く自由なる能はず國際的分業は其跡を断ち保護政策の復歸を見るは鏡に懸けて見るが如し……今日に於て地勢及人文の發達を利用し他國に於て傷痕未だ癒へざるに先ち轉禍爲福の策を講ぜざるを得ざるは多辯を要せず是れを思ひ彼れに鑑み感慨の情更らに急なり依つて理世の要務八件を選び割賦兵に托し以て世に公にせんす。(著者記す)

菊版壹千頁入特價金參圓貳拾錢 郵税一册金十二錢

發行所 東京市東區板橋二丁目七番 江森泰吉 振替口三〇三番 東京市東區板橋二丁目七番

352
137

終

